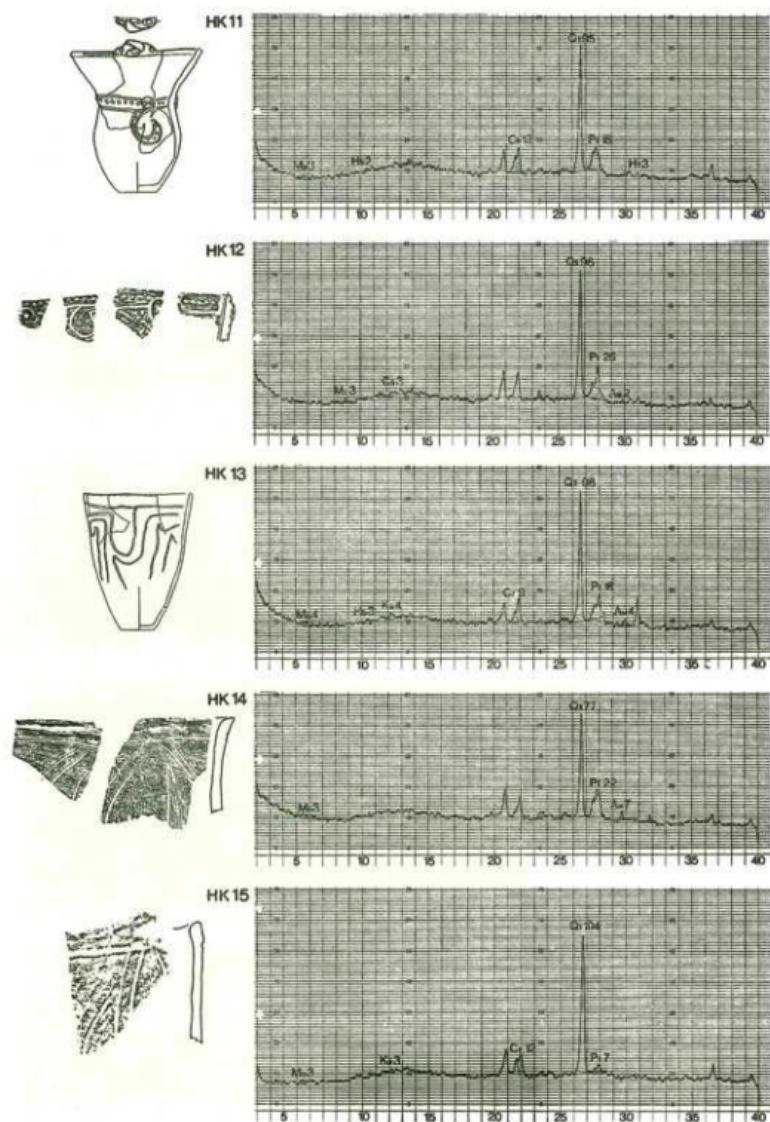
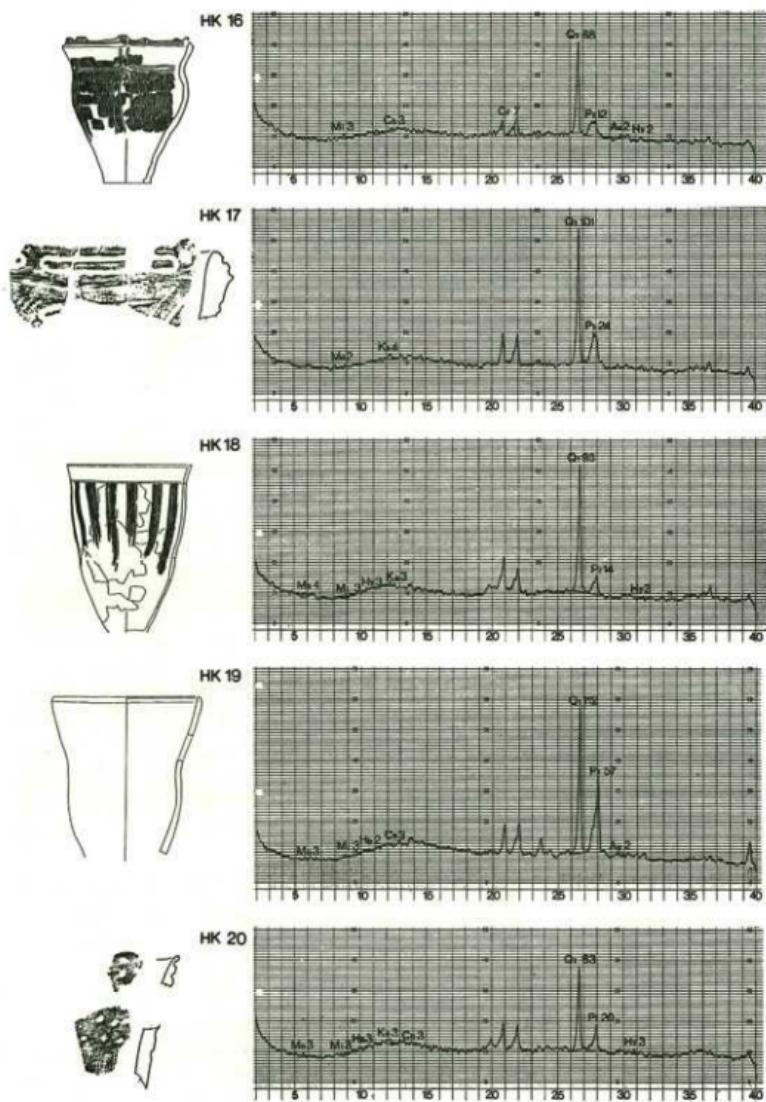


第183図 HK 6 ~ 10



第184図 HK11~15



第185圖 HK16~20

2 蓼田市久台遺跡試料花粉分析報告

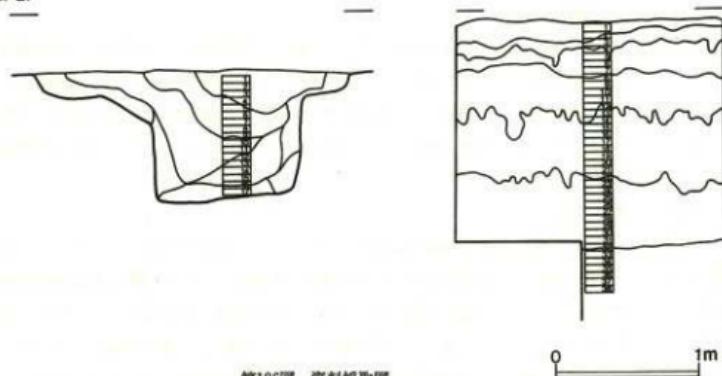
バリノサーヴェイ株式会社

埼玉県埋蔵文化財調査事業団より、蓼田3号（1区）久台遺跡試料の花粉分析の御依頼を受けました。このほど、分析が完了いたしましたので、その結果を御報告いたします。

1 試料

分析に供した試料は、第27土壤15点、基本層のNo.4、6、8の3点の合計18点である。下記一第6表に試料番号、土質、花粉胞子化石産出傾向等についてまとめました。

土壤 27



第186図 資料採取図

場所	層位	No.	土 壤	花粉・胞子化石産出傾向	場所	層位	No.	土 壤	花粉・胞子化石産出傾向
1027 土壤	1	1	黒色土	R	4	4	12	暗褐色土	RR
		3	黒色土	RRR			13	暗褐色土	RR
		4	黒色土	RRR			14	極暗褐色土	RR
	2	5	黒色土	RRR		5	15	極暗褐色土	RR
		6	黒色土	RRR			16	暗褐色土	RR
		8	黒色土	RRR			17	暗褐色土	R
	3	9	黒色土	RRR		I b	4	黑褐色土	RR
		10	極暗褐色土	RRR		II	6	暗褐色土	R
		11	極暗褐色土	RRR		III	8	褐色土	C

表 6 資料表

2 分析方法

原試料20g 秤量——HCl処理——48%HF処理——重液分離 (2 n Br^2) —— アセトリシス処理
——10%KOH——封入——鑑定

3 分析結果及び考察

分析結果は、大部分の試料については花粉・胞子化石産出状況が少ないため、第8表に個体数で表示してある。但し、第27土壤のNo.1、17と基本層のNo.5、8については総個体数を基準とした百分率を算出し、重要な花粉・胞子化石については第7表にまとめた。

次に分析の結果、検出された花粉胞子化石を下記に列挙する。

<AP-1 (針葉樹花粉)>

Abies (モミ属)、*Pinus* (マツ属)、*Tsuga* (ツガ属)、*Cryptomeria* (スギ属)、T.C.T (イチイ科、ヒノキ科、スギ科の何れかではあるが判然としない)。

<AP-2 (広葉樹花粉)>

Tuglans (クルミ属)、*Pterodarya* (サワグルミ属)、*Alnus* (ハンノキ属)、*Carpinus* (クマシデ属)、*Corylus* (ハシバミ属)、*Fagus* (ブナ属)、*Lepidobalanus* (コナラ亜属)、*Zelkora* (ケヤキ属)、*Camellia* (ツバキ属)、*Prunus* (サクラ属)、*Sapium* (シラキ属)、*Ader* (カエデ属)、*Vitis* (ブトウ属)、*Ericaceae* (ツツジ科)、*Ligustrum* (イボタノキ属)、*Viburnum* (ガマズミ属)

<NAP (草本花粉)>

Fagopyrum (ソバ属)、*Chenopodiaceae* (アカザ科)、*Thalictrum* (カラマツソウ属)、*Macleya* (タケニグサ属)、*Cruciferae* (アブラナ科)、*Uicia* (ソラマメ属)、*Laguminosae* (マメ科)、*Geranium* (フウロソウ属)、*Cascula* (ネナシカズラ属)、*Labiate* (シソ科)、*Solanum* (ナス属)、*Patrinia* (オミナエシ属)、*Artemisia* (ヨモギ属)、*Carduoideae* (キク亜科)、*Cidhorioideae* (タンボボ亜科)、*Gramineae* (イネ科)、*Cyperaceae* (カヤツリグサ科)

<FP (形態分類花粉)>

Triqoncolpate pollen (三溝型花粉)、*Triqonocolporat pollen* (三溝孔型花粉)

<FS (羊齒類胞子)>

Lycopodium (ヒカゲノカズラ属)、*Ophioglossum* (ハナヤスリ属)、*Osmunda* (ゼンマイ属)、*Pteris* (イノモトソウ属)、*Polypodiaceae* (ウラボシ科)、*Monolete spore* (単条溝型胞子)、*Trilete spore* (三条溝型胞子)

次に花粉・胞子化石の消長について述べる。

○第27土壤

No.1とNo.17で100個体検出せるも、他の試料では極めて低率であった。No.1ではタンボボ亜科が78.8%を占めた。No.17ではスギ属が33.0%、コナラ亜属が26.0%、他にタンボボ亜科、イネ科が検

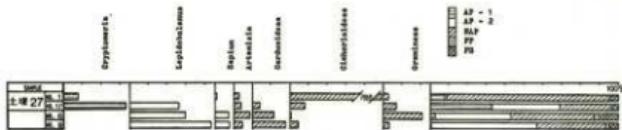
出された。

○基本層

No.4で3個体検出された。No.6ではコナラ亜属が29.5%、イネ科が20.8%検出された。他にシラキ属、キク亜科、ヨモギ属、等が検出された。No.8ではコナラ亜属が43.2%と高率を占め、他にキク亜科、シラキ属、等が検出された。

花粉殆んど検出されない試料が多かったが、試料の中には極めて植物片が多い。また、残渣が比較的多いことから、或る程度は相対的に花粉が薄まっていることも考えられるが、やはり当時より混入が少ないのであろうと考える。

第27土壤と基本層のⅡ層は何れも繩文時代後期初頭とされているものであるが産出傾向は著しく異なる。土壤と言う極めて人為的影響を強く受けたものと、自然層位との違いと考えられるが、これらも当然関係していることは事実であろうが、それ以外に花粉の取り込まれ方の違い、堆積後の酸化等の統成作用の仕方の微妙な違い等により生じるものであろう。花粉の大半が消失するであろうローム層中では、検出された花粉の量比が古植生を考察する上で、どのような意味を持つのか充分考える必要がある。



第7表 久台遺跡試料花粉ダイヤグラフ

Sample Pollen & Spores	土壤 27															基本層		
	1	3	4	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	4	8	9	
Abies																	1	
Pinus																1	1	1
Tsuga																1	2	
Cryptomeria	6	2	2	3	4	1						2	8	2	23			
V.G.T.			1															
AP - 1	8	2	2	4	4	1	0	0	0	0	0	2	6	2	23	2	4	1
Juglans															2		1	
Pterocarya																	2	
Ailnus															1	1		
Carpinus							1									1		
Corylus															1			
Fagus															1	1		
Lepidobalanus	12		5	3	1		2	2		9	9	6	3	26	4	44	85	
Zelkova			1												1	1	2	
cf. Camellia																1		
Prunus															2	2		
Sapindus	1									1						11	17	
Acer															2	1	6	
Vitis	1																	
Ericaceas	9																	
Ligustrum																1		
cf. Viburnum																2		
AP - 2	1	17	1	8	3	1	1	2	3	0	3	3	8	9	20	7	89	124
Fagopyrum			2												1		2	
Chenopodiaceas																1		
Thalictrus																1		
Melichrus			1															
Cruiferas	1															2	7	
cf. Vicia																		
Leguminosae			1												1			
Geranium																1		
Cuscuta															1			
Labiatae																2		
cf. Solanum																1		
Patrinia															2			
Artemisia	3	8	3	3	1	1					5				4	8	33	10
Carduoideae	2	3	2	1	1		2	2	1	3	1	1	4	4	4	17	39	
Cichoriolidae	22	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	8	9	1	1	10	
Gramineas	2	6	2	2	1	1	1			2		2	7	2	21	7		
Cyperaceae	1		3												1			
AP	90	17	7	10	3	8	0	2	3	2	4	4	3	11	27	20	86	86
Trisporocolpate pollen																		
Trisporocolporate pollen	1				2					1	1				1	2	4	5
PP	1	0	9	6	2	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	2	4	5
Lycopodium																2		
Ophioglossum																2		
Gomphrena	1																	
Pteris	2																	
Polypodiaceas	1	1	1												2	3	2	
Monolete spore	2	1													2	4	7	8
Trilete spore		1													1	1		
PS	4	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	7	18	10
AF	9	19	3	9	7	2	1	2	3	0	3	8	11	7	66	9	84	120
Pollen & Spores	194	37	12	20	19	7	2	4	7	2	6	10	14	16	100	39	149	220
Pseudoschizosaccharum																		

第8表 久台遺跡試料花粉分析結果表



第1号住居跡



第2号住居跡



第3号・第4号住居跡



第5号・第7号住居跡



第 6 号住居跡



第 8 号住居跡



第10号住居跡



第11号住居跡



第12号住居跡



第13号住居跡



第14号住居跡



第15号住居跡



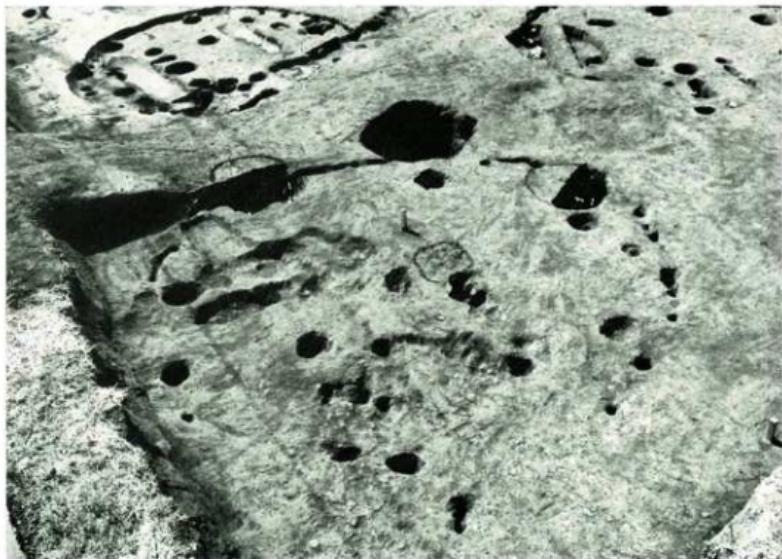
第16号住居跡



第18号住居跡



第19号住居跡



第20号住居跡



第21号住居跡



第22号住居跡



第23号住居跡



第24号住居跡



第25号住居跡



第26号住居跡



第1号土壤



第2号土壤



第3号土壤



第4号土壤



第5号土壤



第11号土壤



第13号土壤



第15号土壤



第16号土壤



第17号土壤



第19号土壤



第20号土壤



第25号土壤



第26号土壤



第27号土壤



第29号土壤



第30号土壤



第31号土壤



第33号土壤



第35号土壤



第37号土壤



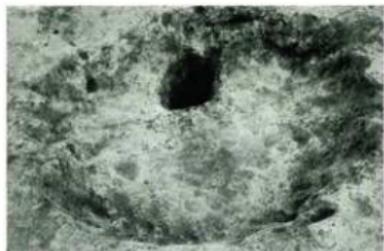
第38号土壤



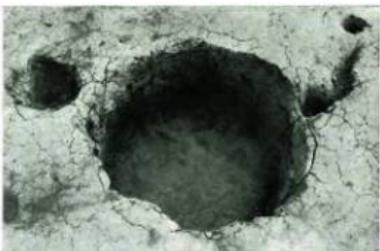
第40号土壤



第41号土壤



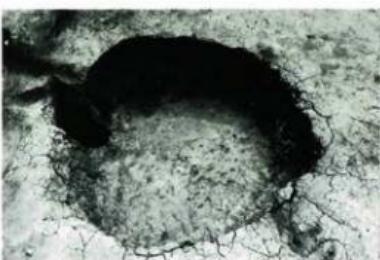
第43号土壤



第44号土壤



第45号土壤



第47号土壤



第48号土壤



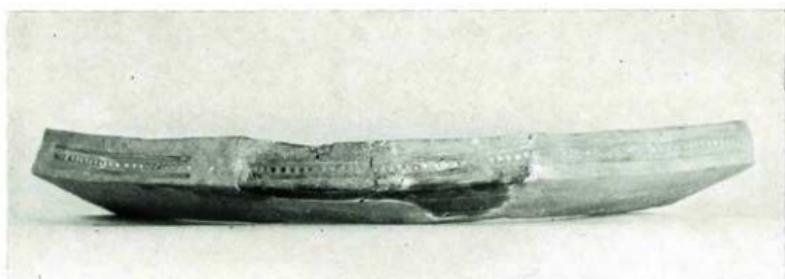
第52号土壤



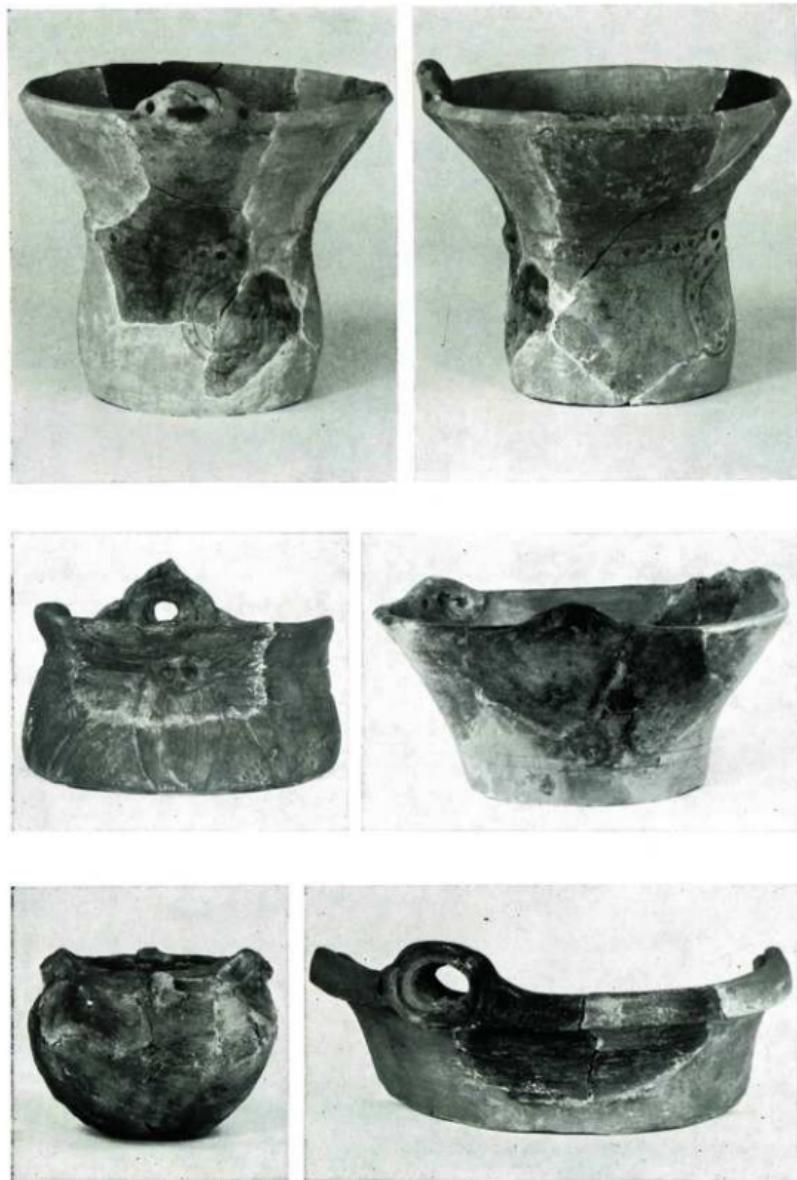
第54号土壤遗物



第54号土壤



第3号・第7号住居跡出土土器



第7号・第11号・第19号住居跡、第36号・第38号土壤出土土器



第21号住居跡出土土器



第27号·第41号土壤出土土器



第48号・第53号土壤出土土器



第59号土壤出土土器



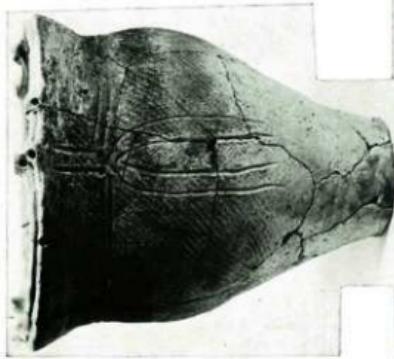
第59号土壙・グリット出土土器



グリット出土土器

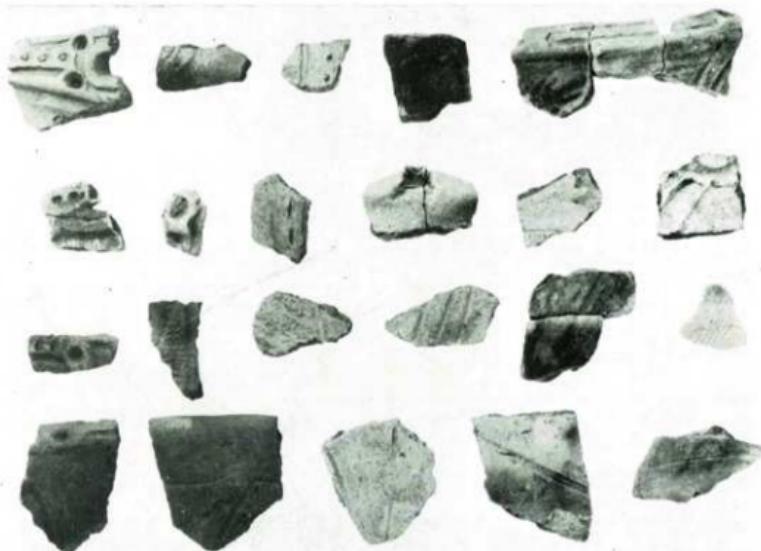


グリット出土土器

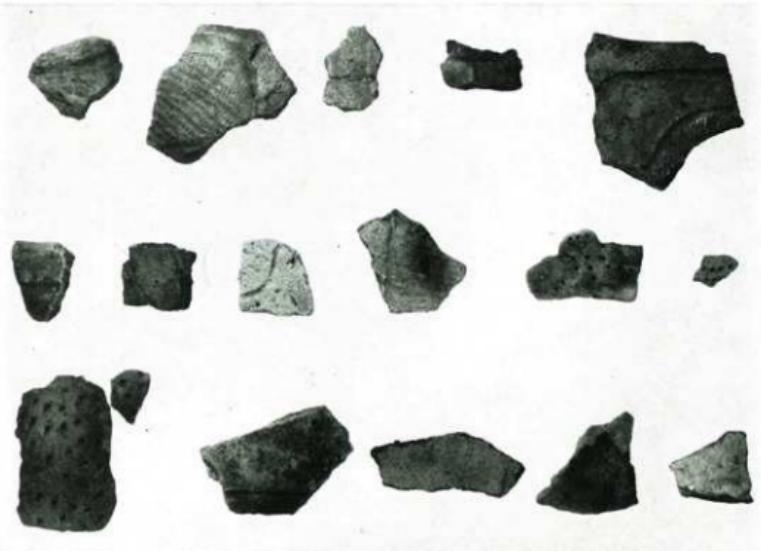


縄文土器展開写真

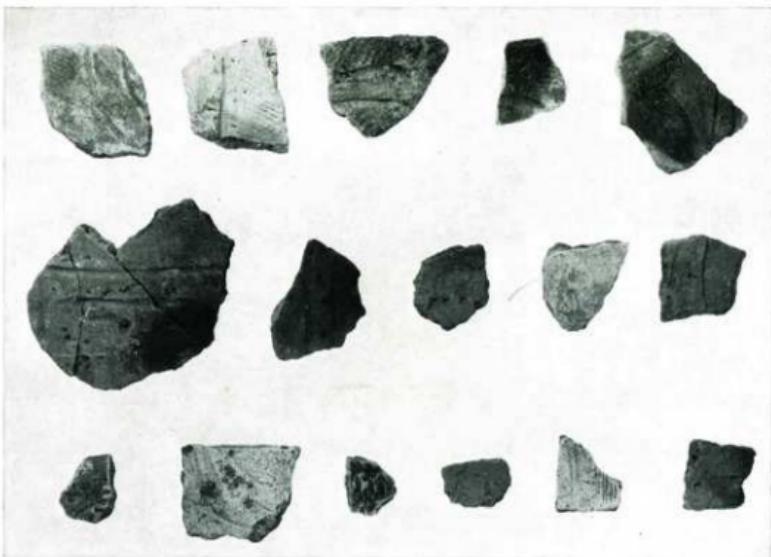




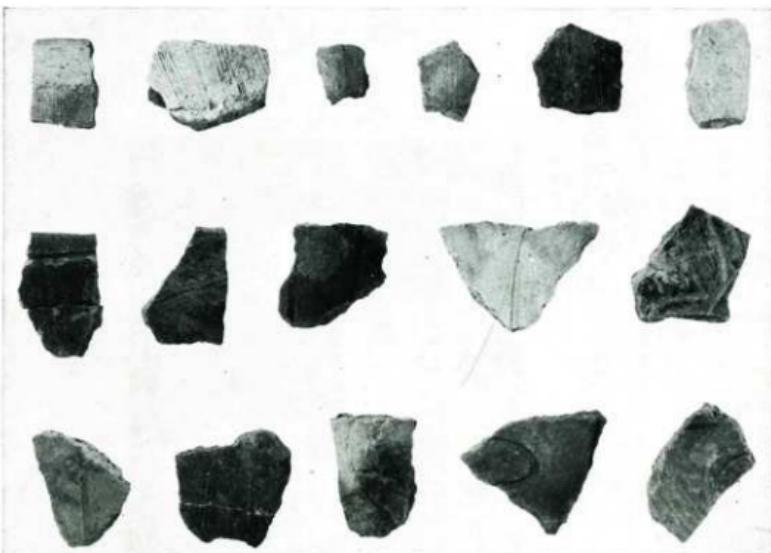
第1号住居跡出土土器



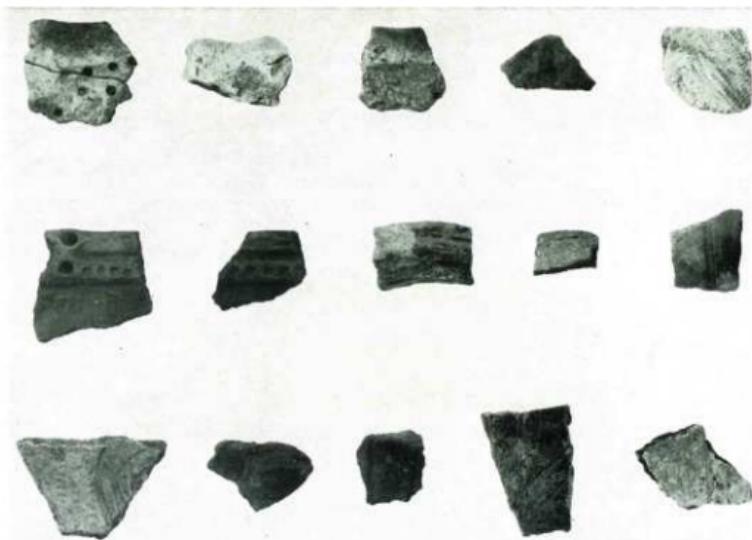
第5号住居跡出土土器



第11号住居跡出土土器（1）



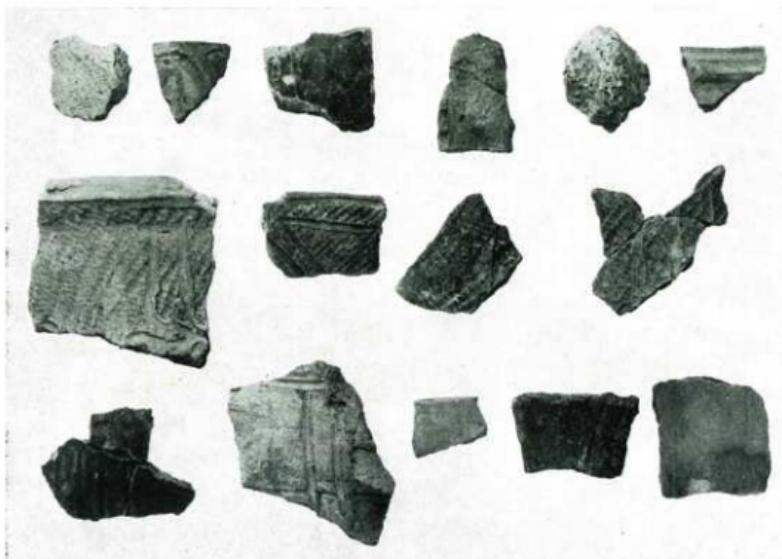
第11号住居跡出土土器（2）



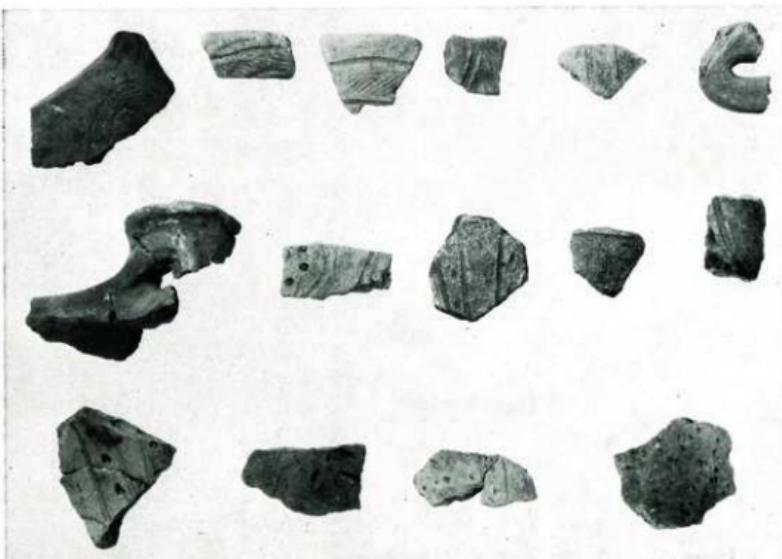
第12号住居跡出土土器



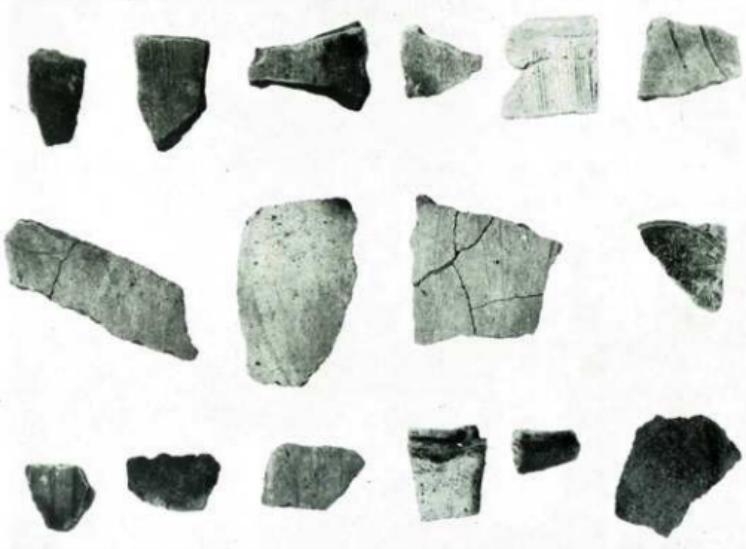
第19号住居跡出土土器



第5号土壤出土土器



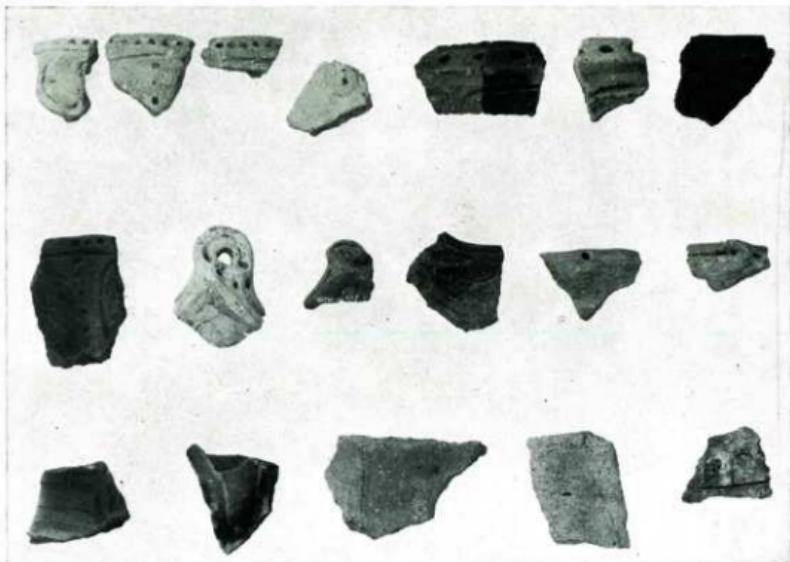
第26号土壤出土土器



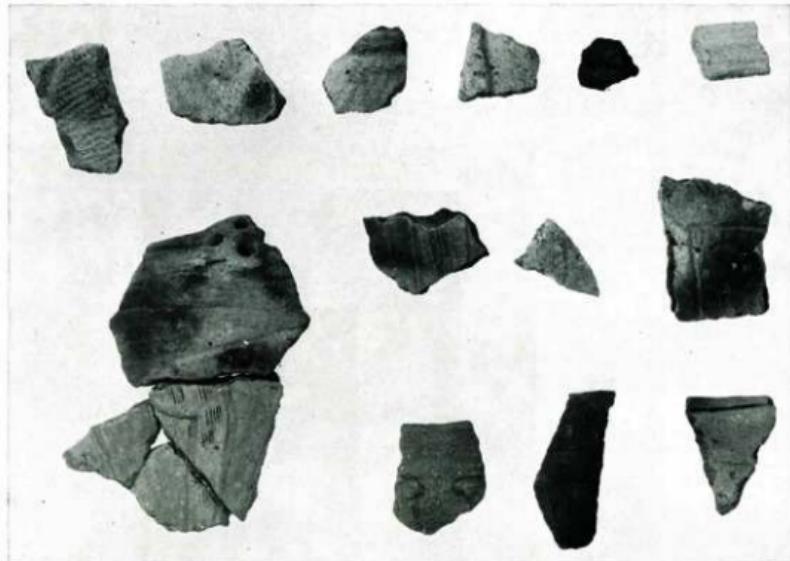
第26号土壤出土土器



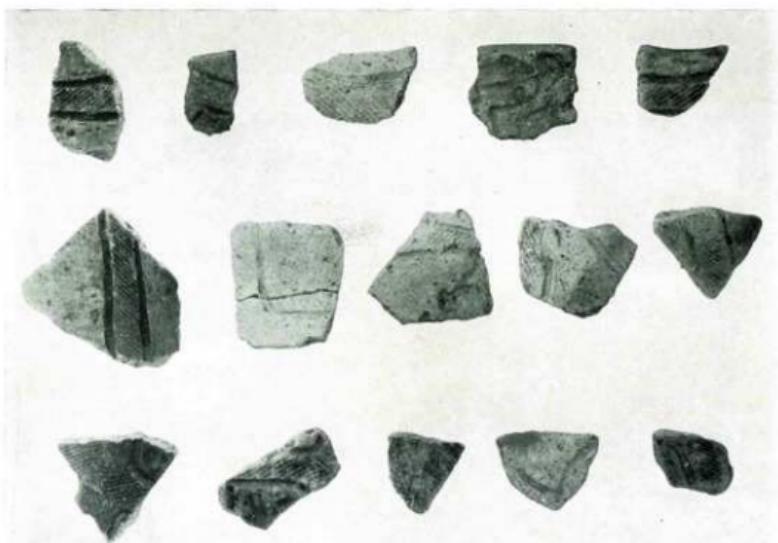
第27号土壤出土土器



第38号土壤出土土器（1）



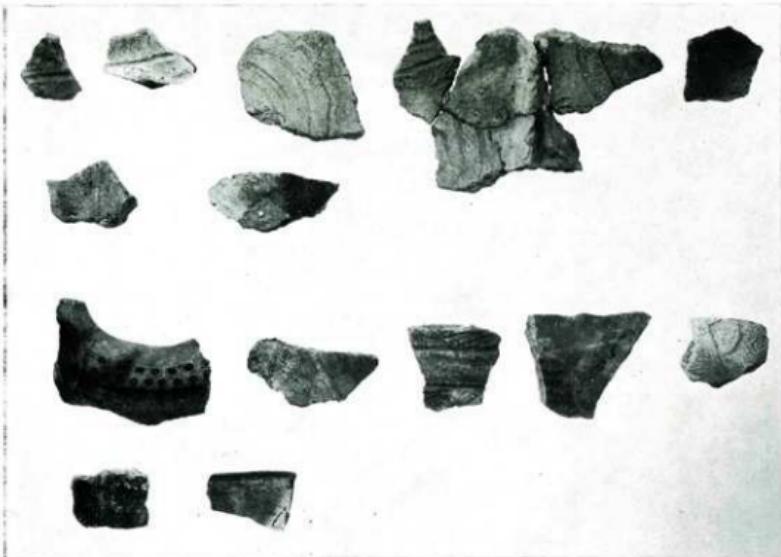
第38号土壤出土土器（2）



第54号土壤出土土器（1）



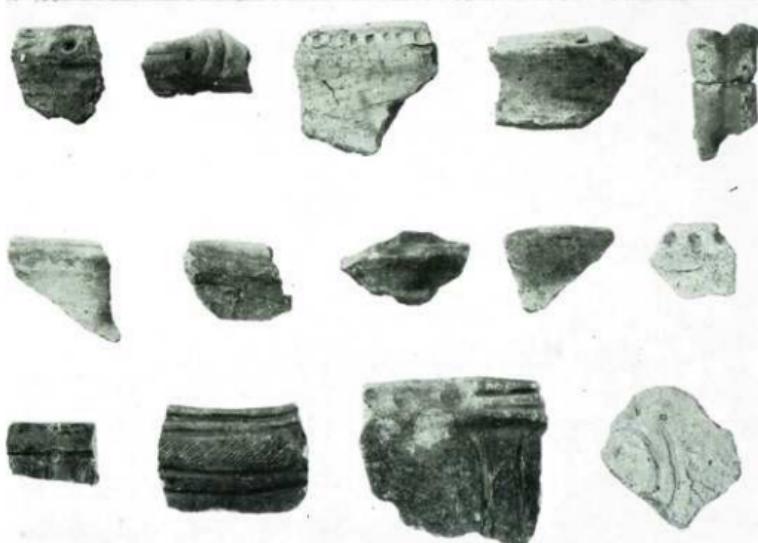
第54号土壤出土土器（2）



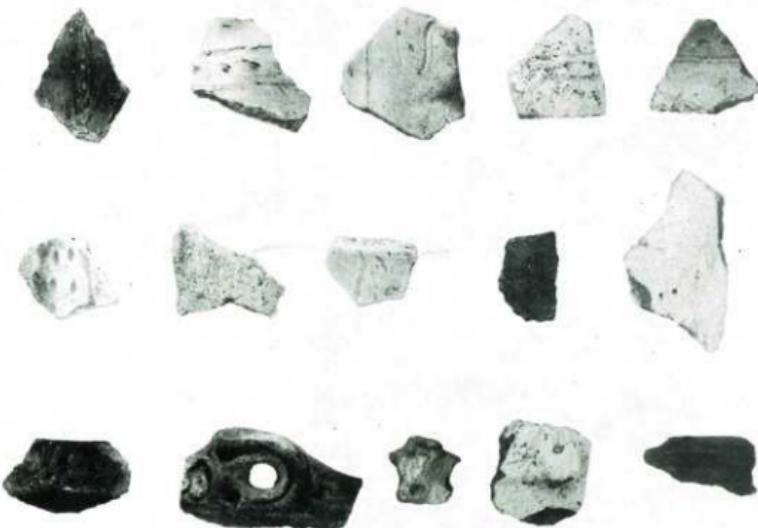
第58号土壤出土土器



第59号土壤出土土器



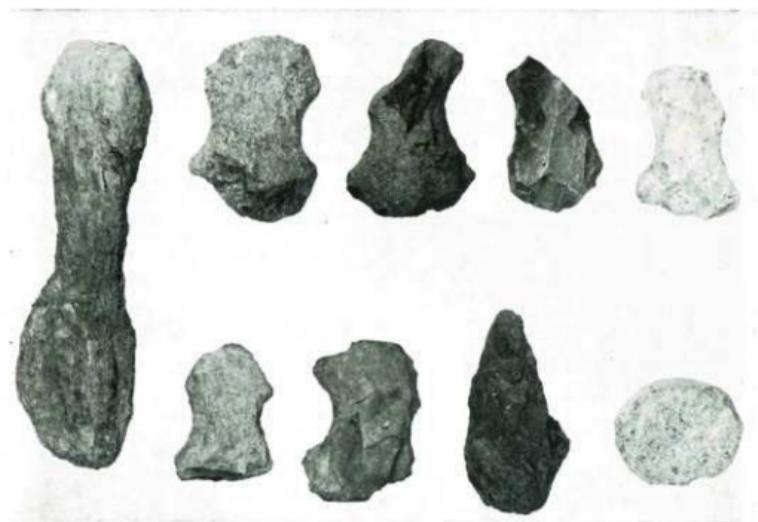
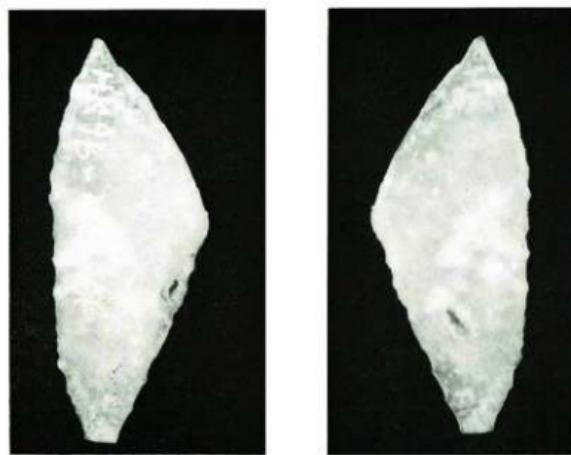
第60号土壤出土土器（1）



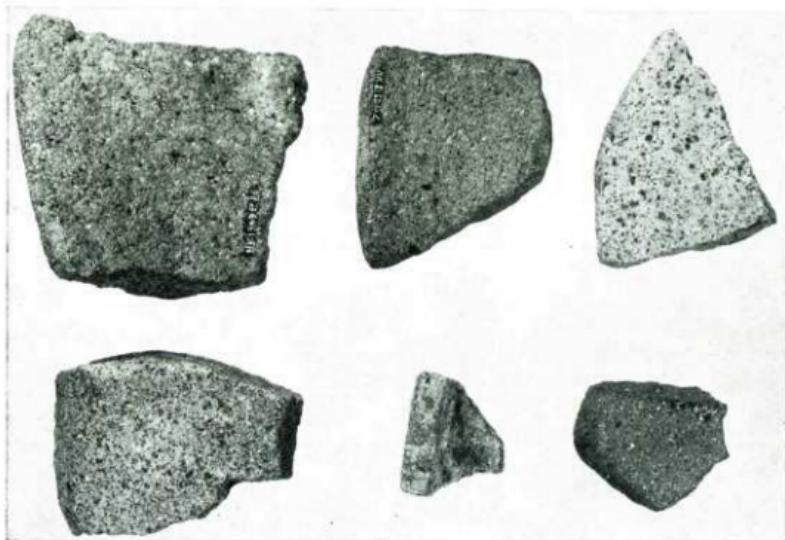
第60号土壤出土土器（2）



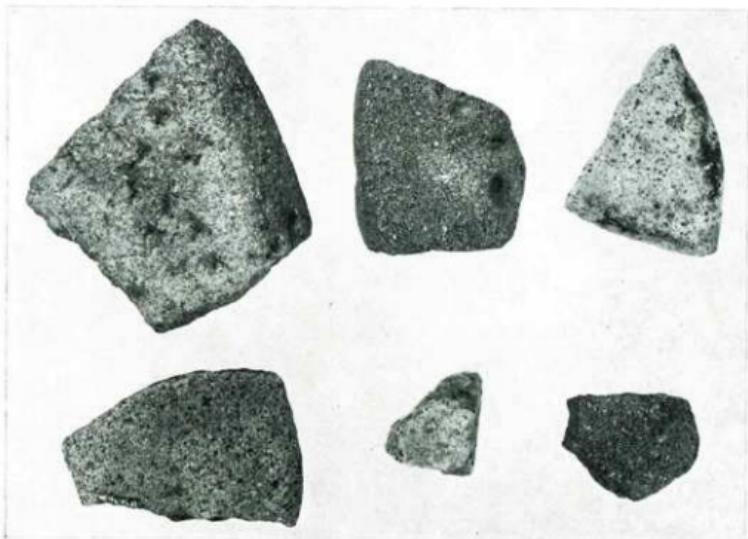
石器(1)



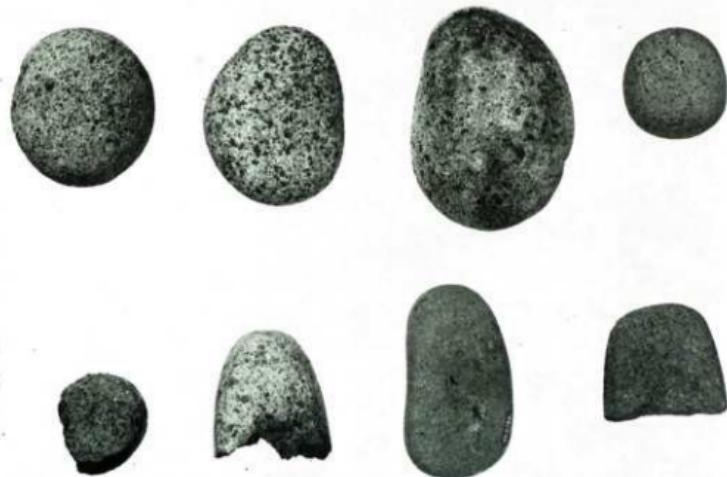
石器（2）



石器（3）（表）



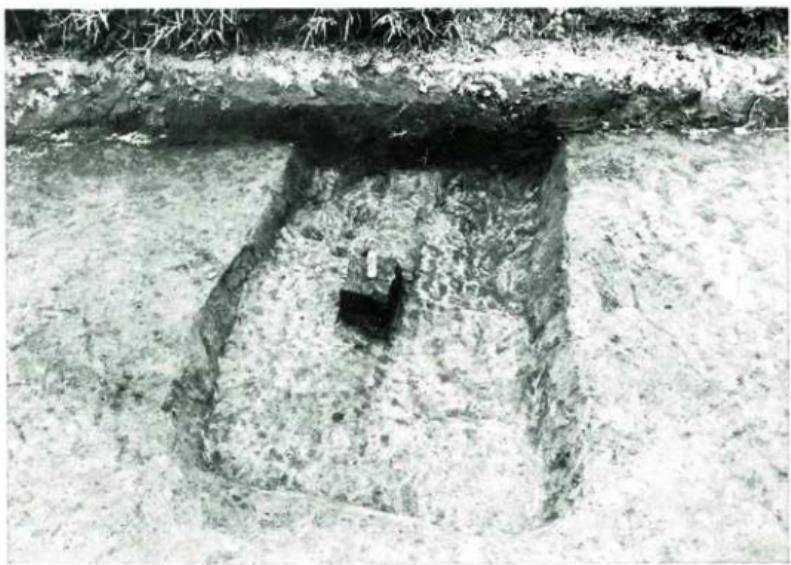
石器（3）（裏）



石器（4）



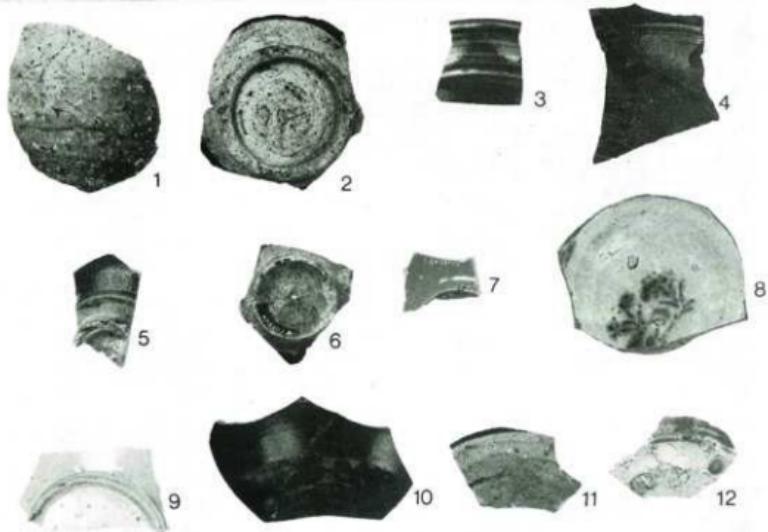
第17号住居跡



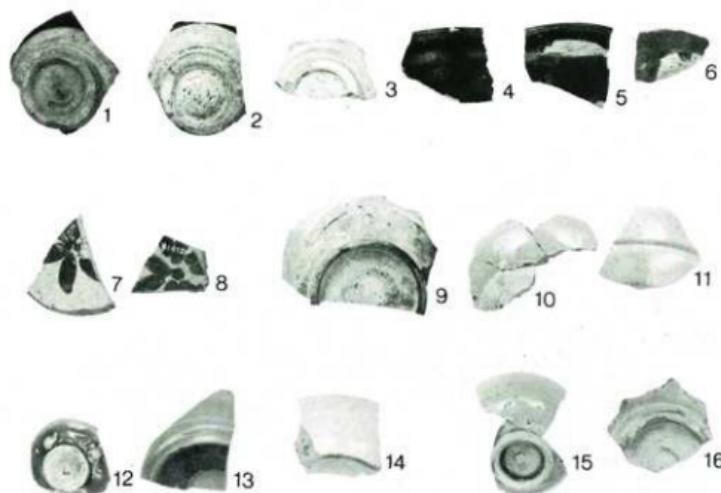
第28号住居跡状遺構



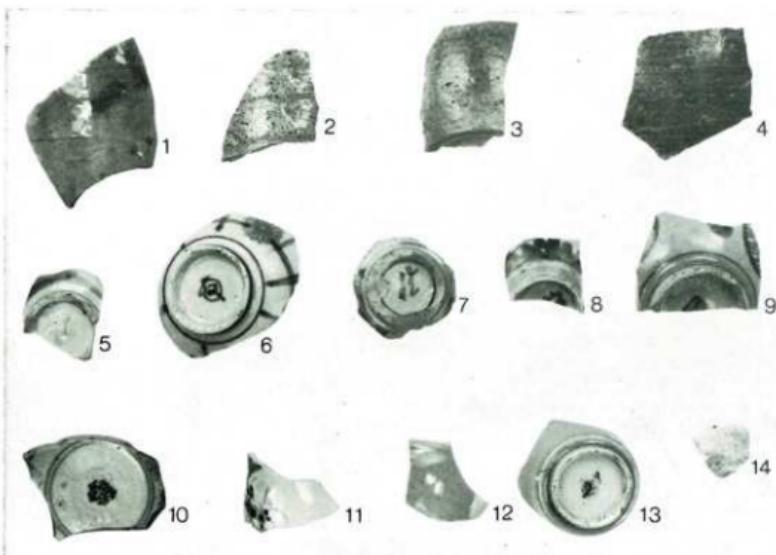
III・SB1・2



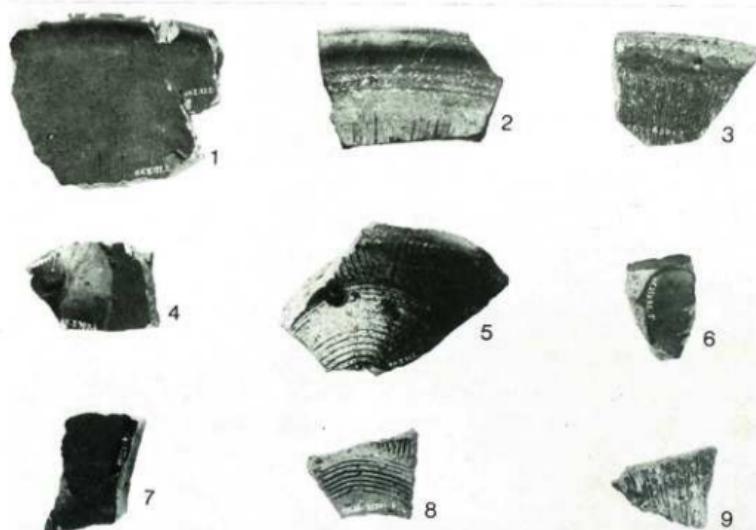
陶磁器（1）



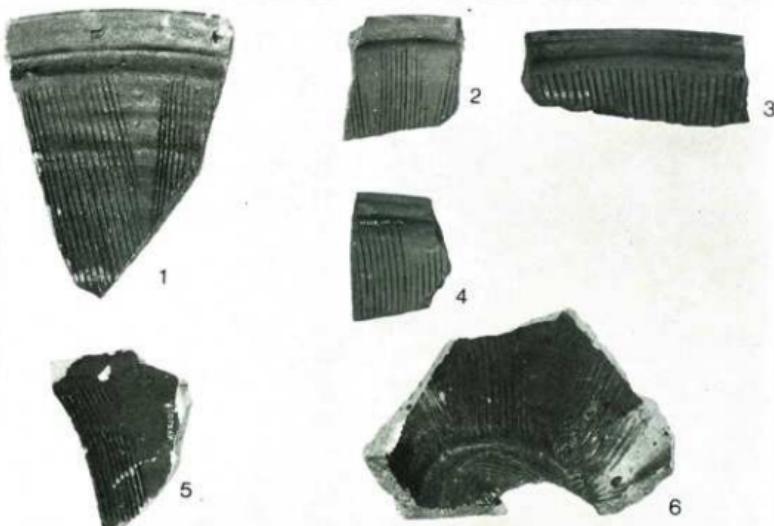
陶磁器(2)



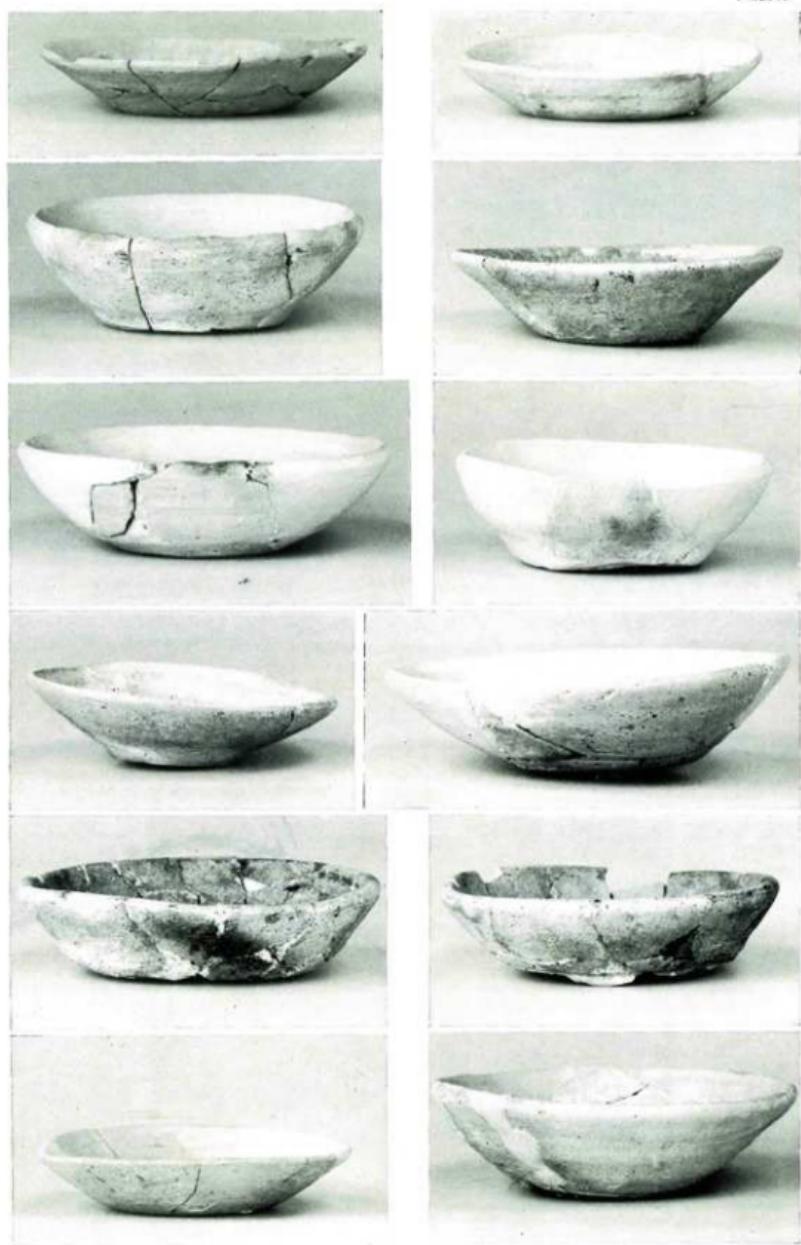
陶磁器(3)



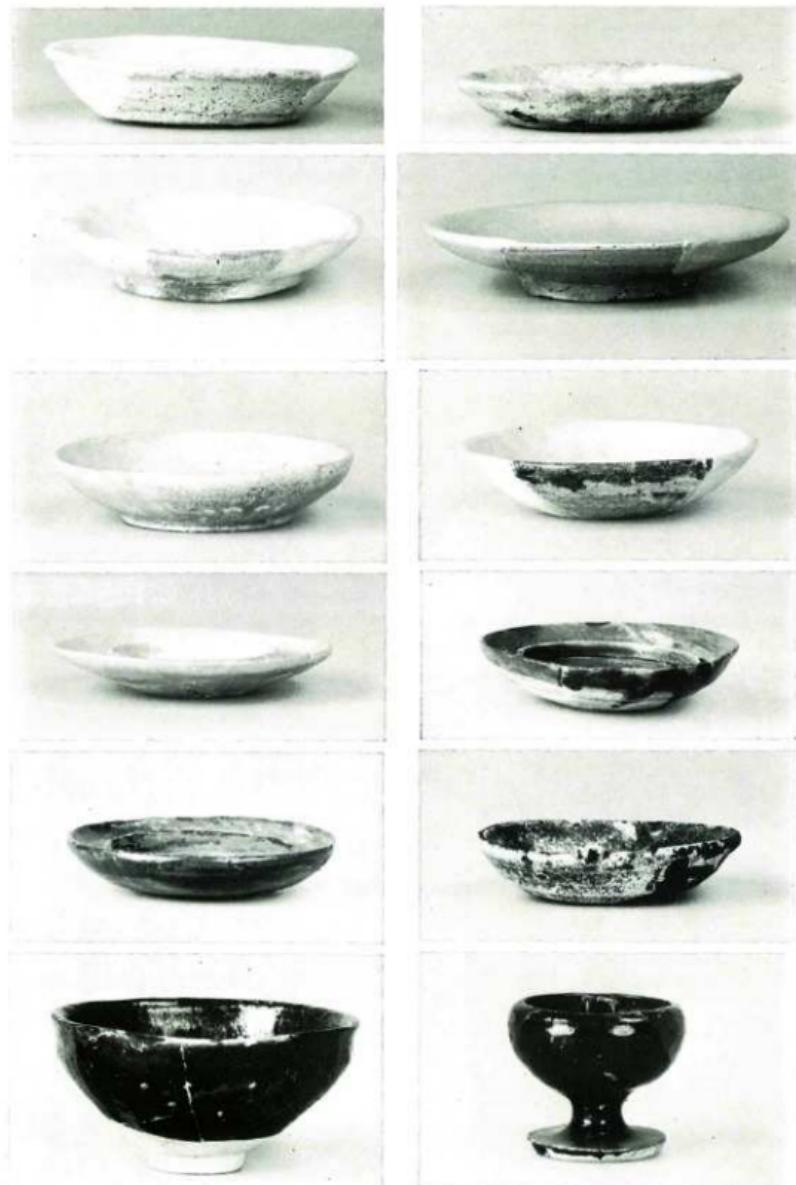
捲鉢(1)



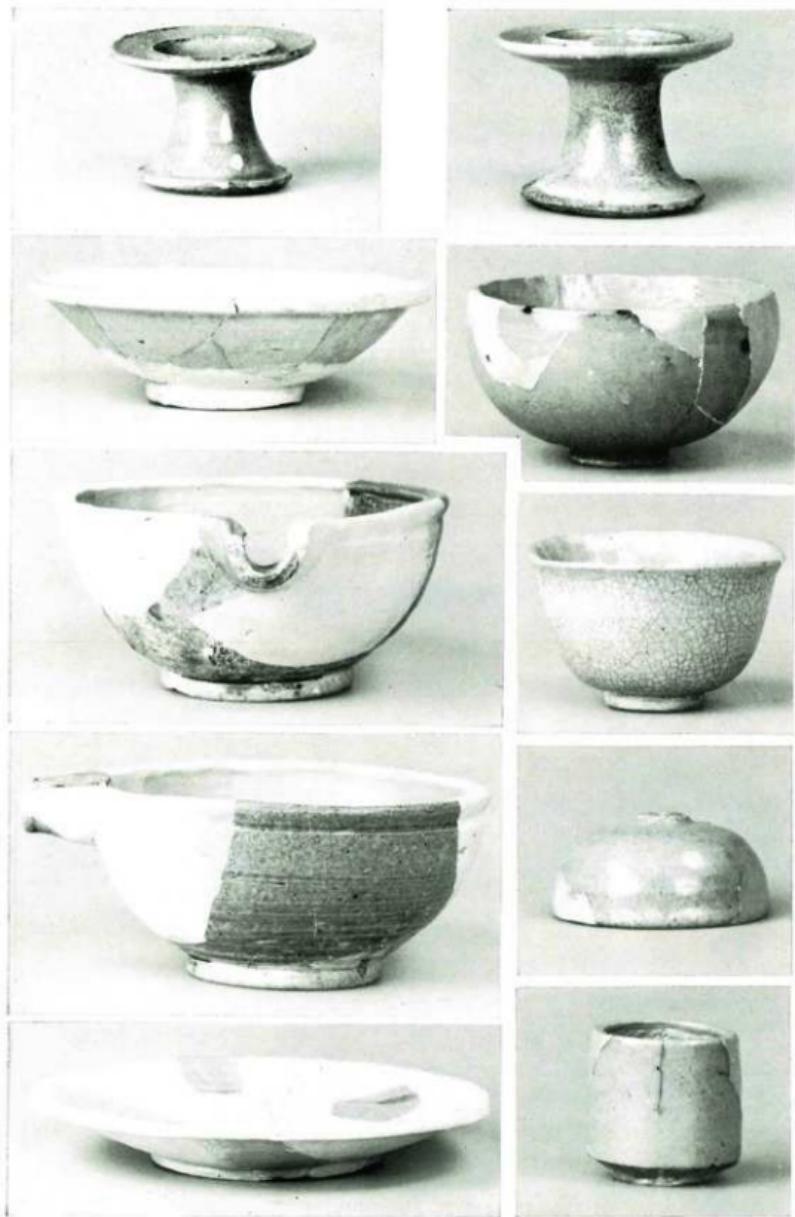
捲鉢(2)



土師質土器皿



陶磁器（4）



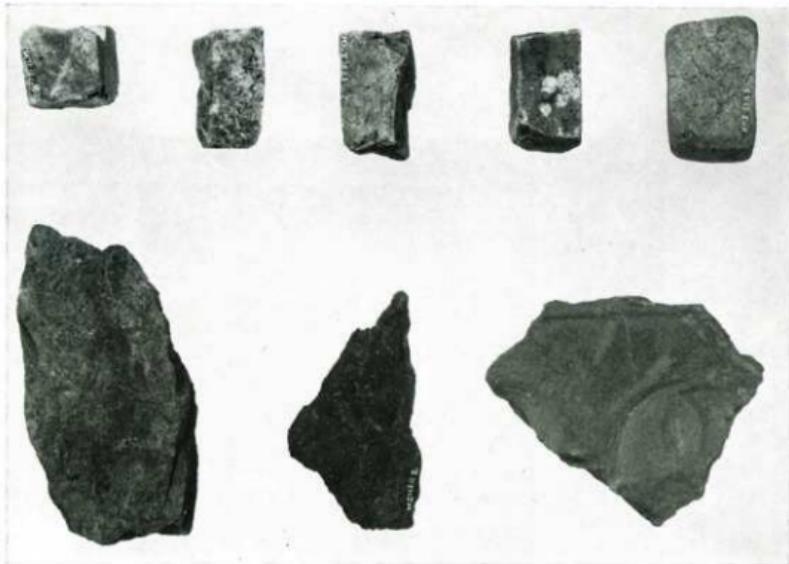
陶磁器（5）



陶磁器（6）



近世砥石



近世砥石・板石塔婆

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第36集

国道122号バイパス関係

埋蔵文化財発掘調査報告 II

久 台

昭和59年3月20日 印刷

昭和59年3月31日 発行

発行 財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
印刷 関東図書株式会社